

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 4
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590017001	科目番号／Course code	05900170
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語 I (F1～F3)／German I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	竹田 桜／Sakura Takeda		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育A棟14／RoomA-14		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	F1～F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka▲gmail.com（メールをする際は、▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy □協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況（25%） 予習・復習への取り組み（25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います） 定期試験（50%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（事前学習）授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと（60分）。 （事後学習）状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください（60分）。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 〈話すための文法〉 web練習問題付』朝日出版社 ＊生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-kyoutsushidoukoumoku.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業オリエンテーション *対面 ドイツ語の文字と発音(1) ドイツ語の基本的あいさつ
第2回	ドイツ語の文字と発音(2) *対面 Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(1)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(2) *対面
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(3) *対面
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面
第6回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(2) *対面
第7回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(3) *対面 ja, nein, dochの使い方
第8回	前期まとめ① *対面
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面
第10回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面
第11回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面
第12回	Lektion 4 前置詞(1) *対面
第13回	Lektion 4 前置詞(2) *対面
第14回	Lektion 4 前置詞(3) *対面
第15回	前期まとめ② *対面
第16回	定期試験 *対面

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 3
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590017002	科目番号／Course code	05900170
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語 I (G1～G3)／German I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	[多文化]総合教育研究棟5F 多文化5 1 番講義室／SGHSS Lecture Room No.51		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館（総合教育研究棟12F）		
担当教員TEL/Tel	hayanagi▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☐ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習の実行状況（15%） 講義中の取り組み方（15%） 定期試験（70%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。事前学習は30分、事後学習は90分を標準とするが、各課の内容によってその都度指示する。		
キーワード/Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	阿部美規『やさしいドイツ語 初級文法（Grundgrammatik des Deutschen）』同学社（2024） 独和辞典については講義中に指示（使いやすい辞書を紹介するので自分の判断で買わないでください）		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2974 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面で実施します。		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に指示する自宅学習をきちんとこなすことが何より重要です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ドイツ語・オランダ語・英語の関係 アルファベット ドイツ語のあいさつ（対面）
第2回	つづりと発音の関係 人称代名詞と動詞の人称変化 語彙を増やそう（交通機関） 会話練習（対面）
第3回	格変化（1格と4格） 語彙を増やそう（衣服） 会話練習（対面）
第4回	haben・sein動詞、語順、決定疑問文 語彙を増やそう（職業） 会話練習（対面）
第5回	名詞の性 語彙を増やそう（町） 会話練習（対面）
第6回	名詞の格変化 語彙を増やそう（食事） 会話練習（対面）
第7回	複数形 語彙を増やそう（大学） 会話練習（対面）
第8回	不規則変化動詞 語彙を増やそう（長期休暇） 会話練習（対面）
第9回	命令形 語彙を増やそう（遊び） 会話練習（対面）
第10回	再帰動詞 語彙を増やそう（スポーツ） 会話練習（対面）
第11回	定冠詞類 語彙を増やそう（学問） 会話練習（対面）
第12回	不定冠詞類 語彙を増やそう（身体） 会話練習（対面）
第13回	人称代名詞の格変化 語彙を増やそう（病気） 会話練習（対面）
第14回	前置詞 語彙を増やそう（レストラン） 会話練習（対面）
第15回	まとめ（対面）
第16回	試験（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 3
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590017003	科目番号／Course code	05900170
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語 I (K1～K3)／German I		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	竹田 桜／Sakura Takeda		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育A棟14／RoomA-14		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	K1～K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka▲gmail.com（メールをする際は、▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況（25%） 予習・復習への取り組み（25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います） 定期試験（50%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（事前学習）授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと（60分）。 （事後学習）状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください（60分）。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 〈話すための文法〉 web練習問題付』朝日出版社 ＊生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-kyoutsushidoukoumoku.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業オリエンテーション *対面 ドイツ語の文字と発音(1) ドイツ語の基本的あいさつ
第2回	ドイツ語の文字と発音(2) *対面 Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(1)
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(2) *対面
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(3) *対面
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面
第6回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(2) *対面
第7回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(3) *対面 ja, nein, dochの使い方
第8回	前期まとめ① *対面
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面
第10回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面
第11回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面
第12回	Lektion 4 前置詞(1) *対面
第13回	Lektion 4 前置詞(2) *対面
第14回	Lektion 4 前置詞(3) *対面
第15回	前期まとめ② *対面
第16回	定期試験 *対面

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	月／Mon 3
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590019001	科目番号／Course code	05900190
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語Ⅱ(F1～F3)／GermanⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	竹田 桜／Sakura Takeda		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育A棟42／RoomA-42		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	F1～F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka▲gmail.com（メールをする際は、▲を@に置き換えてください）		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics □多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy □協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況（25%） 予習・復習への取り組み（25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います） 定期試験（50%）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	（事前学習）授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと（60分）。 （事後学習）状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください（60分）。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 〈話すための文法〉 web練習問題付』朝日出版社 ＊生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-kyoutsushidoukoumoku.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業オリエンテーション *対面 Lektion 4 副文
第2回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(1) *対面
第3回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(2) *対面 再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現
第4回	Lektion 6 冠詞類(1) *対面
第5回	Lektion 6 冠詞類(2) *対面
第6回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1) *対面
第7回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2) *対面 非分離動詞
第8回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1) *対面
第9回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2) *対面
第10回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3) *対面
第11回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1) *対面
第12回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2) *対面
第13回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面
第14回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2) *対面
第15回	Lektion 11 接続法 *対面 後期まとめ
第16回	定期試験 *対面

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	火／Tue 3
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590019002	科目番号／Course code	05900190
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語Ⅱ(G1～G3)／GermanⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	葉柳 和則／Kazunori Hayanagi		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	[多文化]総合教育研究棟5F 多文化51番講義室／SGHSS Lecture Room No.51		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館(総合教育研究棟12F)		
担当教員TEL/Tel	hayanagi▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。事前にメールでアポを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☐ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習の実行状況(15%) 講義中の取り組み方(15%) 定期試験(70%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。事前学習は30分、事後学習は90分を標準とするが、各課の内容によってその都度指示する。		
キーワード/Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	阿部美規『やさしいドイツ語 初級文法(Grundgrammatik des Deutschen)』同学社(2024) 独和辞典については講義中に指示(使いやすい辞書を紹介するので自分の判断で買わないでください)		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面で実施します。		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に提示する課題にきちんと取り組むことが何より大切です。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ドイツ語Iの復習 話法の助動詞 語彙を増やそう（色彩） 会話練習（対面）
第2回	未来形 語彙を増やそう（旅行） 会話練習（対面）
第3回	分離動詞・非分離動詞 語彙を増やそう（ホテル） 会話練習（対面）
第4回	接続詞 語彙を増やそう（リアクション1） 会話練習（対面）
第5回	動詞の3基本形 語彙を増やそう（リアクション2） 会話練習（対面）
第6回	過去形 語彙を増やそう（休暇） 会話練習（対面）
第7回	現在完了形 語彙を増やそう（祝祭） 会話練習（対面）
第8回	受動態 語彙を増やそう（スケジュール） 会話練習（対面）
第9回	形容詞の格変化 語彙を増やそう（国籍） 会話練習（対面）
第10回	比較級と最上級 語彙を増やそう（動作） 会話練習（対面）
第11回	再帰代名詞・再帰動詞 語彙を増やそう（身の回りのグッズ） 会話練習（対面）
第12回	zu不定詞 語彙を増やそう（食品） 会話練習（対面）
第13回	関係代名詞 語彙を増やそう（スポーツ） 会話練習（対面）
第14回	接続法 語彙を増やそう（食事） 会話練習（対面）
第15回	会話練習まとめ（対面）
第16回	試験（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 3
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修／required	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590019003	科目番号／Course code	05900190
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語Ⅱ(K1～K3)／GermanⅡ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	竹田 桜／Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	竹田 桜／Sakura Takeda		
科目分類／Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育A棟42／RoomA-42		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	K1～K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況(25%) 予習・復習への取り組み(25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(50%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、ドイツ語検定		
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭『ドイツ語の時間〈話すための文法〉web練習問題付』朝日出版社 ＊生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。 授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-kyoutsushidoukoumoku.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業オリエンテーション ＊対面 Lektion 4 副文
第2回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(1) ＊対面
第3回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(2) ＊対面 再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現
第4回	Lektion 6 冠詞類(1) ＊対面
第5回	Lektion 6 冠詞類(2) ＊対面
第6回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1) ＊対面
第7回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2) ＊対面 非分離動詞
第8回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1) ＊対面
第9回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2) ＊対面
第10回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3) ＊対面
第11回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1) ＊対面
第12回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2) ＊対面
第13回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) ＊対面
第14回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(2) ＊対面
第15回	Lektion 11 接続法 ＊対面 後期まとめ
第16回	定期試験 ＊対面

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 1
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590021001	科目番号／Course code	05900210
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語III(2G1～2G3)／GermanIII		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	[多文化]総合教育研究棟5F 多文化51番講義室／SGHSS Lecture Room No.51		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1～2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel	a.guelbeyaz▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の初級段階となる(A1)レベル(ドイツ語Ⅰ・ドイツ語Ⅱ)を修了した学生を、基礎レベルとなる次の(A2)レベルに導き、レベルの半ば(A2.1)に引き上げ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	出来事の原因を問う、質問に答えること。過去のことを時系列に表現すること。休暇などに関する会話をすること。身近な人に関して話すこと。行方・経路・行先に関して話すこと。簡易メッセージを読むこと。出来事の頻度を表すこと。台所用具を命名して、食事に関して話すこと。料理店で注文し、食事の苦情を説明すること。提案や謝絶すること、因果関係について話すこと。何すべきか、何したらいいかを言うこと。再帰動詞を使って表現すること。人が何を考えているか、何を信じているかについて話すこと。教育機関・教育機会に関する会話をすること、贈り物に関して話し、誰に与えられるか等について話すことが出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☐ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☒ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の学習(積極的参加10%、宿題10%、小テスト30%) 50%、定期試験(筆記試験) 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	「事前学習」 授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。「復習・練習・確認」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。(2h) 「事後学習」 復習テキストと宿題をして理解を確実にするように努めること。「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。(2h)		
キーワード/Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		
教科書・教材・参考書/Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に配布、又はメールで送ります。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施方法・対面
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」は基本的に存在していません。ドイツ語は極めて構造化されてある点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業方法・学習法の説明；ドイツ語で自己紹介；習得したドイツ語の確認（対面）
第2回	動詞の話 そのⅠ（定形動詞・不定形動詞；単純動詞・複合動詞；分離動詞・非分離動詞；自動詞・他動詞；動詞の時制；現在・過去・過去完了の復習）（対面）
第3回	『動詞の話 そのⅠ（定形動詞・不定形動詞；単純動詞・複合動詞；分離動詞・非分離動詞；自動詞・他動詞；動詞の時制；現在・過去・過去完了の復習）』の復習・練習・確認（対面）
第4回	名詞の話（性、数、格；定名詞・不定名詞；所有格／属格）（対面）
第5回	『名詞の話（性、数、格；定名詞・不定名詞；所有格／属格）』の復習・練習・確認（対面）
第6回	動詞の話 そのⅡ（再帰動詞；規則動詞・不規則動詞の時制の仕組みの比較；否定）（対面）
第7回	『動詞の話 そのⅡ（再帰動詞；規則動詞・不規則動詞の時制の仕組みの比較；否定）』の復習・練習・確認（対面）
第8回	複文の構造 そのⅠ（主文・従属節・接続詞）；理由を表す副詞節、条件を表す副詞節（対面）
第9回	『複文の構造 そのⅠ（主文・従属節・接続詞）；理由を表す副詞節、条件を表す副詞節』の復習・練習・確認（対面）
第10回	動詞の目的語・目的格；複文の構造 そのⅡ（主節・目的節）（対面）
第11回	『動詞の目的語・目的格；複文の構造 そのⅡ（主節・目的節）』の復習・練習・確認（対面）
第12回	前置詞；前置詞付き目的語を統率する動詞（対面）
第13回	『前置詞；前置詞付き目的語を統率する動詞』の復習・練習・確認（対面）
第14回	動詞の話 そのⅢ（動詞の法：直説法・仮定法）；仮定法の使用法（丁寧な表現など）（対面）
第15回	『動詞の話 そのⅢ（動詞の法：直説法・仮定法）；仮定法の使用法（丁寧な表現など）』の復習・練習・確認（対面）
第16回	定期試験（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/04/01～2025/09/28		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590021002	科目番号／Course code	05900210
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名／Course title	【Online】●ドイツ語Ⅲ(再履修)／GermanⅢ		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	オンライン		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo▲yahoo.co.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	メール		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	kiyohara_akiyo▲yahoo.co.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文法（特に「動詞の形」「名詞句の形」「語順」）に着目し、ドイツ語の理解をより深めることを目的とした授業です（初級文法既習者対象）。		
授業到達目標/Course goals	・ドイツ語Ⅰ、Ⅱで学んだ知識が定着する。 ・Ⅰ、Ⅱで未修の文法事項を知る。 ・ドイツ語文インプット時の理解が深まり、アウトプット時の迷いが減る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終課題（定期試験相当、点数重視）…約7割。平常点（普段の課題の提出状況：点数よりも、期限や指定した形式を守れているかを評価）…約3割。 学期中に実際に課された課題の回数や難易度によって多少比率が変わるかもしれませんが、試験相当の最終課題の占める割合が大きい（約7割）ことは変わりません。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります（2h）。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください（2h）。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・在間進 『Ach so! Alles klar!（おさらいドイツ語 納得！ドイツ語ってそうなのか）』朝日出版社		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	■ この授業は全てオンライン（オンデマンド型）で実施します。授業コンテンツおよび連絡事項はすべてLACSに掲載します。 ■ 指定の教科書とLACS上で提供する授業コンテンツを使って自学してください。 LACSには解説音声（mp3）、補足資料(pdf)、練習問題（小テスト機能）等を掲載します。 ■ 授業日に割り当てられている火曜日の5限頃にその回の授業コンテンツをアップします。原則として、次の授業が更新されるまでの一週間の内に、授業内容の確認や課題の提出を行ってください。 。（コンテンツを削除するわけではありませんので、いつでも過去の授業内容確認はできます。課題についても、平常点が減点されますが、一週間を過ぎても提出可能です。）
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	授業オリエンテーション、発音と綴り（第0課）
第2回	文と動詞の位置（第1課）
第3回	主語と動詞（第2課）
第4回	名詞と冠詞（第3課）
第5回	複数形（第4課）
第6回	冠詞の仲間（第5課）
第7回	冠詞の仲間（第5課）続き
第8回	前置詞（第6課）
第9回	前置詞（第6課）続き
第10回	形容詞（第7課）
第11回	形容詞（第7課）続き
第12回	分離動詞（第8課）
第13回	話法の助動詞（第8課）
第14回	話法の助動詞（第8課）続き
第15回	前期まとめ

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 2
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590023001	科目番号／Course code	05900230
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名／Course title	●ドイツ語IV(2G1～2G3)／GermanIV		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) ／Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	教養教育A棟11／RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1～2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel	a.guelbeyaz▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語IIIを受けた学生に、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の基礎上段階となる(A2.2)レベルのドイツ語を身につかせ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	複文の仕組みを積極的に理解し、譲歩的な状況の中で起きる行われること。行動、過程、出来事を制約する条件等を表すこと。可能性、予定、イベント、活動等に関して話すこと。形容詞をより上手にを使って、比較級と最上級をふさわしく使うこと。パンフレットやちらしの内容がわかること。郵便局・郵便サービスを利用すること。好み・優先傾向、物事の種類に関して話すこと。動きの諸種類を表現すること。異なる気象条件、スケジュール、旅行計画について話すこと。物事の欠如を表現すること。はがき等を書く・読むこと。異なる場面でいろいろなことについて人に問い合わせること、銀行サービス等を利用すること。受動態を使って話すこと。除法動詞を適切に使うこと。助言を与えること。対立に対応・管理すること。行動・過程・出来事の結果について話すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☐ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の学習(積極的参加10%、宿題10%、小テスト30%) 50%、定期試験(筆記試験) 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	「事前学習」 授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。「復習・練習・確認」のセッションでは小テストをする可能性があるため、必ず予習してくる。(2h) 「事後学習」 復習テキストと宿題をして理解を確実にするように努めること。「言葉は何よりもまず単語であること」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。(2h)		
キーワード/Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく初接触から使うものである。) 語彙(言葉は文法ではなく何よりもまず単語である。)		

教科書・教材・参考書/Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に（遅くとも一週間前に）配布、又はメールで送ります。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施方法・対面
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」とは基本的に存在していません。ドイツ語は極めて構造化されている言葉という点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ドイツⅢの選択的復習； 動詞の法； 複文（対面）
第2回	『ドイツⅢの選択的復習； 動詞の法； 複文』の復習・練習・確認（対面）
第3回	与格を取る前置詞、場所や方向の表現； 形容詞変化； 譲歩節・譲歩を表す構造（対面）
第4回	『与格を取る前置詞、場所や方向の表現； 形容詞変化； 譲歩節・譲歩を表す構造』の復習・練習・確認（対面）
第5回	物事の比較、助言、意見を表す方法や構造； 対格を取る前置詞（対面）
第6回	『物事の比較、助言、意見を表す方法や構造； 対格を取る前置詞』の復習・練習・確認（対面）
第7回	関係詞節； 話し言葉によく使う不変化詞； 本動詞の意味に応じて与格か対格を取る前置詞（対面）
第8回	『関係詞節； 話し言葉によく使う不変化詞； 本動詞の意味に応じて与格か対格を取る前置詞』の復習・練習・確認（対面）
第9回	時の副詞節； 前置詞付き目的語を統率する動詞（対面）
第10回	『時の副詞節； 前置詞付き目的語を統率する動詞』の復習・練習・確認（対面）
第11回	「zu」付き不定詞節； 結果節・結果を表す構造； 属格を取る前置詞（対面）
第12回	『「zu」付き不定詞節； 結果節・結果を表す構造； 属格を取る前置詞』の復習・練習・確認（対面）
第13回	受動態； 目的節・目的を表す構造（対面）
第14回	『受動態； 目的節・目的を表す構造』の復習・練習・確認（対面）
第15回	まとめ・選択的復習（対面）
第16回	定期試験（対面）

学期／Semester	2025年度／Academic Year 後期 ／Second Semester	曜日・校時／Day・Period	他／Others 0
開講期間／Course duration	2025/09/29～2026/03/31		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択／required, elective	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード／Time schedule code	20250590023002	科目番号／Course code	05900230
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名／Course title	【Online】●ドイツ語IV(再履修)／GermanIV		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	清原 明代／Kiyohara Akiyo		
科目分類／Course Category	B科目群 外国語科目（初習），外国語科目		
対象年次／Intended year	2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	オンライン		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo▲yahoo.co.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	メール		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078（教養教育事務室）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	kiyohara_akiyo▲yahoo.co.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文法（特に「動詞の形」「名詞句の形」「語順」）に着目し、ドイツ語の理解をより深めることを目的とした授業です（初級文法既習者対象）。		
授業到達目標/Course goals	・ドイツ語Ⅰ、Ⅱで学んだ知識が定着する。 ・Ⅰ、Ⅱで未修の文法事項を知る。 ・ドイツ語文インプット時の理解が深まり、アウトプット時の迷いが減る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics ■多様性の理解／Understanding Diversity ■主体性／Autonomy □協働性／Cooperativeness □考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終課題（定期試験相当、点数重視）…約7割。平常点（普段の課題の提出状況：点数よりも、期限や指定した形式を守れているかを評価）…約3割。 学期中に実際に課された課題の回数や難易度によって多少比率が変わるかもしれませんが、試験相当の最終課題の占める割合が大きい（約7割）ことは変わりません。		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります（2h）。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください（2h）。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・在間進 『Ach so! Alles klar!（おさらいドイツ語 納得！ドイツ語ってそうなのか）』朝日出版社		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	■ この授業は全てオンライン（オンデマンド型）で実施します。授業コンテンツおよび連絡事項はすべてLACSに掲載します。 ■ 指定の教科書とLACS上で提供する授業コンテンツを使って自学してください。 LACSには解説音声（mp3）、補足資料(pdf)、練習問題（小テスト機能）等を掲載します。 ■ 授業日に割り当てられている火曜日の5限頃にその回の授業コンテンツをアップします。原則として、次の授業が更新されるまでの一週間の内に、授業内容の確認や課題の提出を行ってください。 。（コンテンツを削除するわけではありませんので、いつでも過去の授業内容確認はできます。課題についても、平常点が減点されますが、一週間を過ぎても提出可能です。）
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	前期（ドイツ語III取扱い内容）復習
第2回	過去の表現（第9課）動詞の3基本形
第3回	過去の表現（第9課）過去形
第4回	過去の表現（第9課）現在完了形
第5回	接続法（第10課）接続法第1式
第6回	接続法（第10課）接続法第2式
第7回	比較表現（補足）
第8回	zu不定詞句（補足）
第9回	受動態（補足）
第10回	受動態（補足）続き
第11回	関係文（補足）
第12回	関係文（補足）続き
第13回	復習・練習問題
第14回	復習・練習問題
第15回	復習・練習問題